

PRESS RELEASE

2018年12月12日

関係各位

井関農機株式会社

新商品の発表について

下記7品目12型式の新商品を発表いたしますので、ご連絡いたします。

			記	
国内向け				発売月
トラクタ	ジラス	NT603E	1型式	2018年12月
	BIG-T	T5711S・5713S	2型式	2018年12月
	ロボットトラクタ	TJV655R	1型式	2018年12月
コンバイン	フロンティア	HVZ211~319	4型式	2018年12月
	ジャパン	HJ6130・7130	2型式	2018年12月
野菜移植機	ナウエルナナ	PVH100-70PSMBL	1型式	2019年 3月
		PVD10-N	1型式	2019年 2月

商品情報を詳しく見る

プレスリリース内に表記されている記号について

オンリーアイマーク … 井関農機(株)が特許出願中および特許として認められた機構を示すマーク



以上

PRESS RELEASE

ニッポントラクタ「ジラス」NT3シリーズに
低コスト農業応援機を追加！

キセキトラクタ NT603E

当社はこのたび、シンプルで低価格なトラクタ「ジラス」NT3シリーズにさらなる低コスト化を図った型式を追加し、新発売します。

1. 開発のねらい

農地集約・大規模化が進む中、生産費低減の動きが活発化しています。今回、「高機能」と「低価格」の二極化が進む担い手市場に向け、仕様・装備をさらにシンプル化し、作業上必要な機能に絞込んだ低コスト農業応援機NT603Eを投入します。

2. 発売型式

「ジラス」 NT603FFESUGCY（60馬力）

3. 主な特長

1) シンプル・低価格

従来のNT3シリーズから、さらに機能を厳選し、作業上必要最低限の装備でさらなる低価格化を実現しました。シンプル化した装備の一部はオプションとして装着可能です。

2) 基本性能はNT3シリーズを踏襲

- ・前後進24段の多段変速トランスミッションで幅広い作業に適応します。
- ・インデペンデントPTOの採用で、クラッチペダルの操作に関係なくPTOの「入」・「切」ができるので、肥料・薬剤散布作業を高精度で行えます。
- ・パワーリニアシフトでクラッチを踏むことなく前後進の切換えを行えます。
- ・オート4WD制御により走行中のブレーキ操作時は自動で4WDに切り替わりますので制動力が高まります。

4. 主要諸元

添付チラシをご参照願います。

5. 発売予定時期

2018年12月

6. 販売目標台数

年間300台

7. 希望小売価格 (消費税込)

NT603FFESUGCY

5,918,400円



NT603FFESUGCY

[商品情報を詳しく見る](#)

PRESS RELEASE

大規模農家の期待に応えるBIG-Tシリーズに 待望の軽量4気筒モデルが新登場

キセキトラクタ BIG-T 5700Sシリーズ

当社はこのたび、北海道地区を中心とした地域の大規模農家に好評をいただいている「BIG-T」シリーズに、特自排ガス4次規制適合4気筒エンジンを搭載した、軽量モデルの5700Sシリーズを追加し新発売します。

1. 商品化のねらい

農家戸数の減少に伴い、農地の集約が進む中、農家の経営規模の大規模化が急速に進行しています。そのような市場においては高能率で操作性が良く、長時間作業での疲労軽減が期待できるトラクタが求められています。今回、このような市場の要望に応え、管理作業を効率良く行える軽量コンパクトモデルとして、「BIG-T」5700Sシリーズを大型トラクタ市場に投入します。

2. 発売型式

「BIG-T」 T5711S（110馬力）
T5713S（130馬力）

3. 主な特長

1) エンジン

排気ガス中の有害な窒素酸化物を尿素水と化学反応させることで、無害な窒素と水に還元する尿素SCRシステムを採用したエンジンを搭載しました。4気筒4.4Lと大排気量ですので粘り強い作業が行えます。特自排ガス4次規制に適合したクリーンな排気ガスと、高出力・低燃費を実現しました。

2) NEWデザイン

スタイリッシュかつスマートなスティープボンネットの採用により、前方視界の視認性が良く、作業精度と安全性の向上に貢献します。

3) 信頼の油圧システム

全ての仕様に100L/m以上の高流量システムを採用しました。近年益々大流量化している大型作業機に対応します。

4) 充実の装備

- ・ダブルアングル式サイドミラーの採用により、視認領域が広がり安全性が向上します。
- ・LED式ワークライトをルーフ前後とフロントピラー、リヤフェンダの計12灯の作業灯すべてに採用し、夜間作業での視認性を向上します。
- ・フロントアクスルサスペンション（A型）により、長時間作業の疲労軽減だけでなく、直進性、制動性、操舵性の向上を実現します。

4. 主要諸元

添付チラシをご参照願います。

5. 発売予定時期

2018年12月

6. 販売目標台数

年間30台

7. 希望小売価格（消費税込）

T5711SD4S22P4	13,601,520円
T5711SD4F22P4	14,085,360円
T5713SD4S67P4	14,700,960円
T5713SD4F67P4	16,066,080円



T5713SD4FSAP1

[商品情報を詳しく見る](#)

PRESS RELEASE

有人監視下の無人運転が可能な
「ロボットトラクタ」を新発売！
夢の技術で農家の皆様を応援

キセキ ロボットトラクタ T J V 6 5 5 R

当社は、GNSS（全球測位衛星システム）を活用した自動操舵技術「ISEKI DREAM PILOT（ISEKI ドリームパイロット）」※の開発に取り組んでおります。このたびその第3弾として、有人監視下での無人自動運転作業（耕うん・代かき）を可能にした「ロボットトラクタ」T J V 6 5 5 Rのモニター販売を開始します。

※ISEKI 農業ICTソリューションについて

当社は3分野の農業ICTソリューションで夢ある農業を応援します。

- ・自動操舵技術

「ISEKI DREAM PILOT」

- ・センシング技術

「ISEKI SENSING TECHNOLOGY」

- ・営農管理システム

「ISEKI AGRIMANAGEMENT SYSTEM」



【ISEKIの自動操舵農機投入状況】

ISEKI	第1弾 直進アシストシステム搭載田植機	NP80DZ	2017年12月
DREAM	第2弾 トラクタ自動操舵レディ仕様	TJW1233C	2018年6月
PILOT	第3弾 ロボットトラクタ	TJV655R	2018年12月

1. 開発のねらい

日本農業は農家戸数の減少に伴い、担い手農家への農地集積・規模拡大が一層加速しています。また、農業従事者は年々減少し、熟練した技術をもった人員の確保が困難になってきています。このような中、様々な精密操作を必要とするトラクタ作業において、経営規模拡大に伴うオペレータの疲労軽減と不慣れなオペレータの習熟にかかる時間コスト効率化は農業経営における課題となっております。これらの課題に対応するため、有人監視下での無人自動運転作業を可能としたロボットトラクタを市場に投入し、日本農業の未来を応援します。

2. 発売型式

ロボットトラクタ T J V 6 5 5 R (65馬力)

3. 主な特長

1) 有人監視下での無人作業

T J V 6 5 5 Rは農林水産省により策定された「ロボット農機の自動走行に関する安全性確保ガイドライン」に準拠しています。使用者がほ場内もしくはほ場周辺にて監視している状況下での無人ロボットトラクタ1台による作業もしくは、オペレータが運転する有人トラクタと無人ロボットトラクタによる2台の同時作業によって作業の省力化、そして生産性の向上を実現できます。

※ロボットトラクタの操作には使用者訓練が必要です。

2) R T K (リアルタイム・キネマティック) による高精度作業

G N S Sの位置情報に対し、無線基地局R T Kと本機アンテナ内のI M Uにより位置補正を行い、高精度な自動運転を実現します。

3) 簡単操作

操作モニタと監視モニタ兼用の7インチタブレットとリモコンを装備しています。基本設定はタブレット内の「パイロットアイ」で簡単に行え、自動運転の開始と停止、また緊急時の操作はリモコンで行えます。

4) 簡単な経路設定

ほ場に入り、走行しながら外周の4地点を記憶させることにより、ほ場の境界線設定ができます。外周2周分の枕地を残した範囲で「往復耕と1行程の周り耕」による自動耕うんが可能です。往復耕は設定により隣接耕や一本飛ばし耕も可能です。

5) 安心装置

動作業中は全方位から視認可能な3色灯と警音器により本機の作動状態が確認できます。本機の異常や衛星情報のロストを検出した場合や、赤外線レーザと超音波の2種類のセンサが人や物の接近を検出した場合は、灯火と音により異常を知らせ、自動作業を停止します。また、監視者はトラクタの機体4か所に装着されたカメラの映像をタブレットで見ることができ、目視とあわせてロボットトラクタの周囲の状況を確認できます。

4. 主要諸元

添付チラシをご参照願います。

5. 発売予定時期

2018年12月

6. 販売目標台数

年間10台

7. 希望小売価格（消費税込）※モニター販売

TJV655R1-ZWXH（RTK基地局付）

13,078,800円



TJV655R1-ZWXH

[商品情報を詳しく見る](#)

PRESS RELEASE

カンタン操作でスマートに収穫
みんなが使いやすい小型コンバイン登場！

キセキコンバイン HVZシリーズ

当社はこのたび、日本のコンバイン市場で最大のボリュームゾーンである2・3条刈クラスで好評をいただいている「フロンティアN」HNシリーズをモデルチェンジし、カンタン操作でみんなが使いやすいコンバイン「フロンティア」HVZシリーズを新発売します。

1. 開発のねらい

農業従事者の高齢化、担い手への農地集約など農家を取り巻く環境が急激に変化しつつある中、小型市場では、操作が分かりやすく高能率な作業ができるコンバインが求められています。今回、このような要望に応えるため、簡単に操作ができ、しっかり収穫できるコンバイン「フロンティア」HVZシリーズを投入します。

2. 発売型式

「フロンティア」	HVZ 2 1 1	(2条刈 12馬力)
	HVZ 2 1 5	(2条刈 15馬力)
	HVZ 2 1 8	(2条刈 18馬力)
	HVZ 3 1 9	(3条刈 19馬力)

3. 主な特長

1) 簡単刈取

①全型式全面刈感覚で作業可能

従来の3条刈に加え、2条刈でも全型式で全面刈感覚での作業が可能です。中割りもあぜ際も自由自在に刈取ができ、手刈りの面積を減らすことができます。また、HVZ 2 1 8は刈取部をスライドできますので、湿田や倒伏作物に対する適応性が向上しました。

②リモコン分草杆

右側の分草杆を運転席からワンタッチで広げることができます。枕地作業や中割作業でも刈幅に余裕をもってプラス1条を刈ることができます。

③刈取スタートレバー

刈取作業に必要な刈取クラッチ「入」・脱穀クラッチ「入」・エンジン刈取作業回転出力・こぎ深さ自動制御「入」の操作を、レバー1本で行えます。簡単な操作で作業を開始でき、手順忘れによる作業時のトラブルが減少します。

④刈取フローティング

刈取部下面に装備しているソリを接地させることにより、刈取部の上下操作が少なくなり、低くキレイに刈り取ることができます。また、HVZ 218、319には刈取部の重量を緩和させるアシストスプリングを装備しています。

(※乾田で効果を発揮する機能です。ほ場の条件により効果は異なります。)

⑤掻き込みスターホイール宙吊り構成

刈取部の掻き込みスターホイールの動力をスターホイール上面から取ることで、スターホイールの下面にワラくずが溜まりにくく、安定した搬送を実現しています。

2) 大容量脱こく部 (HVZ 211 除く)

クラス最大径* (φ 420×505 mm) の新設計こぎ胴を搭載していますので、脱こく、選別ともに優れた性能を発揮します。また、作物への負担が少なくワラくずを軽減できます。(※2018年12月現在 当社調べ)

また、エンジン緊急停止スイッチを押すとエンジンが停止し、さらに脱こく運転時には、こぎ胴カバーが自動で開きますので、安全性が大幅に向上しています。

3) 簡単排出

①ズームオーガ (GZ・GEZ型)

オーガが伸縮しますので、排出作業時の位置合わせが簡単に行えます。また、折りたたみ式に比べて、オーガ収納時の粗こぼれが少なくなりました。GZ型は電動、GEZ型は手動のズームオーガです。

②グレンタンク (G型)

HVZ 211は330L、HVZ 215、218、319には430Lの大容量グレンタンクを採用しました。籾袋運びを行う必要がなく、大容量なので余裕の連続作業が行えます。

4) より安心、より快適な作業

①リモコンナローガイド

ナローガイドの張出、収納を、手元のレバーで操作席に座ったまま操作できます。

②イージーシフト

主変速HSTレバーの操作で、駐車ブレーキの解除が可能です。また、駐車ブレーキペダルを踏み込み、HSTレバーを前に倒すと、掻き込み作業が行えます。

③補助ステップ&補助グリップ

乗り降りに便利な補助グリップと補助ステップを装備しています。

④全高一間以下 (HVZ 211)

格納時の全高が一間以下になりますので、低い間口の納屋でも格納できます。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売時期

2018年12月

6. 販売目標台数

年間760台

7. 希望小売価格（消費税込）

HVZ211	1,744,200円	～	2,029,320円
HVZ215	2,241,000円	～	2,661,120円
HVZ218	2,997,000円	～	3,078,000円
HVZ319	3,380,400円	～	3,461,400円



HVZ211GEZKWC



HVZ319GZKHC

[商品情報を詳しく見る](#)

PRESS RELEASE

さらなるパフォーマンスを追求した
フラッグシップコンバイン「ジャパン」が新たに登場。

キセキコンバイン HJシリーズ

当社はこのたび、コンバインのフラッグシップモデルである「ジャパン」HJシリーズのモデルチェンジを行い、「高精度」「高能率」「高耐久」のコンバインとしてさらなる進化を遂げた、「Monster Japan (モンスタージャパン) ” HJシリーズを投入します。

1. 開発のねらい

コンバイン「ジャパン」シリーズは大規模稲作農家、営農集団や農業法人の皆様にも、その名の通り日本を代表する高能率多条刈コンバインとして数多くご愛用いただいております。今回、特自排ガス4次規制へ対応するとともに馬力をアップし、「高精度」「高能率」「高耐久」で大規模農家のプロユーザーを魅了するコンバイン新HJシリーズとして投入します。

2. 発売型式

「ジャパン」 HJ6130 (6条刈 130馬力)
HJ7130 (7条刈 130馬力)

3. 主な特長

1) 特自排ガス4次規制対応エンジン搭載

コモンレール式水冷4気筒ディーゼルインタークーラターボエンジンを搭載しています。業界最大出力*の130馬力を誇り、過酷な条件下でも余裕の作業を実現します。作業速を2.05m/sにアップし、作業能率の向上を実現しました。※(2018年12月現在) また、コモンレール式超高压燃料噴射システムとクールドEGR(排気ガス再循環)システムに加えDOCと尿素SCRシステムを搭載しており、環境に優しいエンジンです。

2) 高精度・高能率

①条件適応性向上

車体水平制御のストローク量を50mmアップさせることによって車高位置をより高く、また、後傾時の角度を従来機から3度大きく傾けることができるため湿田走破性がさらに向上しています。

②刈取性能向上

刈取部の駆動は専用HSTを設けノンストップで3段階（H型は2段階）に変速が可能です。引起し部にも2段の変速を設けており、フィードチェン2段変速制御と合わせて様々な条件で理想的な搬送姿勢を保つことができます。

③脱こく性能向上

3つの胴を持つスーパーツイーンエイトスレッシャー脱こく部を搭載しました。作物にやさしい大径ロングこぎ胴と、2番還元物を専門に処理する2番処理胴、こぎ胴からの排塵を処理、拡散、排出する排塵処理胴の3つから構成される高精度脱こく部です。

また、自動脱こく制御に層厚センサを追加し、揺動棚の処理量を検知し精度の高い選別とロスの低減を図りました。

④操作性向上

メータパネルはカラー液晶モニタを採用しさらに見やすく、座席にはグラマー社製シートを採用し、長時間作業でも快適に行えます。新たにカット部の拡散板を操作席から切換できるスイッチを設けました。枕地や中割作業時など切りワラの拡散幅の切換を機体から降りることなく操作できます。

3) 高耐久設計

走行部のオイルバス式トラックローラにはフローティングシールを採用し、耐久性とメンテナンス性の向上を図りました。負荷のかかるパーツは材質と加工にこだわることで耐磨耗性、防錆性を高め、過酷な条件、長いシーズンの稼働に対応しました。

例：高耐久こぎ歯、高耐久切刃、ステンレス受け網、ステンレス揺動棚、
ステンレス引起しカバー、ステンレス分草杆、セラミック回転刃部など

4) 安心装備

後方視界を確保するため、リヤカメラには広角レンズを採用しましたのでより安心して後進できます。また、手こぎ作業時にレバーを上げるとフィードチェンが低速で動き出す手こぎ安全装置を装備しています。また、万が一の時には緊急停止スイッチを押すとエンジン停止するとともにフィードチェンが瞬時に止まり、こぎ胴カバーが半開放しますので安心です。個別キーやキー付き燃料キャップの採用やエンジン始動時の暗証コード設定機能など盗難防止機能を追加しています。

5) 先端技術

アグリサポートを全型式標準対応とし、また、ISEKIリモートと収量センサ付型式を設定しました。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売予定時期

2018年12月

6. 販売目標台数

年間185台

7. 希望小売価格（消費税込）

HJ6130 16,610,400 ~ 18,867,600円

HJ7130 19,126,800 ~ 19,936,800円



HJ6130ZCALW

[商品情報を詳しく見る](#)

PRESS RELEASE

さらに適応性拡大！
加工用かんしょ栽培体系に対応した
半自動野菜移植機「ノウエルナナ」を新発売。

キセキ半自動野菜移植機 PVH100-70PSMBL

当社はこのたび、さらなる市場の要望に対応するため、半自動野菜移植機「ノウエルナナ」PVH100-70PSMBLを追加発売します。

1. 開発のねらい

加工用のかんしょ栽培に適応するため、より広い植付株間を採用した型式を追加発売します。

2. 発売型式

「ノウエルナナ」 PVH100-70PSMBL

3. 主な特長

1) 新機能

①より広い植付株間

新型機では株間39～50cmを採用しているため、加工用の大きな芋を収穫する体系に、より適しています。(従来機の株間は25～40cm)

②かん水装置の標準装備

出荷段階でかん水装置が装備されています(従来機ではオプション扱い)。

植付けと同時にかん水を行うため、植付け後の活着が良く水撒きまでの萎れを防ぎます。

2) 植付作業の機械化

つる苗をベルト部に挟持させるだけで斜め植えを行うことができます。作業者は腰をかかめずに楽な姿勢で作業ができるため、体への負担を低減できます。また、一人作業が行えるため、人件費の節減や省力化が可能です。

3) きれいな植付け

①独自の植付爪

挟持式植付爪によりつる苗をつかみ、安定した挿入長さで植付けができます。露地栽培やマルチ栽培でも植付けが可能です。

②植付部傾斜機構

手動傾斜レバーで車体の傾きを調節できるので、傾斜地でもうねの中央に安定した植付けが可能です。

③植付爪連動鎮圧輪

つる苗植付け後、手植えと同様に土の上から一株ずつ叩くことで、空洞化を防ぎ活着を促進します。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売時期

2019年 3月

6. 販売目標台数

年間20台

7. 希望小売価格（消費税込）

PVH100-70PSMBL 955,800円



PVH100-70PSMBL

[商品情報を詳しく見る](#)

PRESS RELEASE

ねぎの植付作業を大幅に省力化
セル成形苗を全自動で移植

イセキ全自動ねぎ移植機 PVD10-N

当社はこのたび、高精度・高能率作業が可能な全自動ねぎ移植機PVD1-NGに新機能を追加しPVD10-Nとして新発売します。

1. 開発のねらい

ねぎの全自動移植機市場の「よりきれいに植付けしたい」「株間の設定を楽にしたい」などの要望に対応するため、新機能である自動水平機能や株間無段階調節機能を追加した新型機を投入します。

2. 発売型式

PVD10-N

3. 主な特長

1) 新機能

①自動水平機能

傾斜地や凹凸のあるほ場でも、機体を自動で水平に維持するため植付姿勢を一定に保つことができます。隣接うねで作業する場合、一度通った轍で機体が傾いても真っすぐな植付けが可能です。

②株間無段階調節機能

株間調節ハンドルを使うことで、株間を7.5～14cmまで無段階で調節できます。傾斜地などで株間がずれた場合でも簡単に調節できます。

2) 高能率作業

10aあたり2.5～3.0時間で作業を行えるため、作付面積の拡大に貢献します。

3) 安定した植付け

①植付チゼル

硬い植付溝でも土を掘り起こしながらきれいに植付けます。

②油圧自動追従

覆土輪センサーによる油圧制御で、一定の深さで植付けます。

③まっすぐ植付け

前輪のガイド輪が植付け溝に沿って走行するため直進性に優れ、安定した姿勢で真っすぐな植付けが行えます。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売時期

2019年 2月

6. 販売目標台数

年間15台

7. 希望小売価格（消費税込）

PVD10-N 1,512,000円

[商品情報を詳しく見る](#)